

SADI 組織委員会より SADI 関係者各位

年明けとともに能登地震とは・・・私達も可能なだけ被災地の難儀を共感してゆかねばと存じます。そうした中で、次のような案内は少しためられたのですが、奮う気持ちの継続も大切と思いお届けする次第です。

SADI は昨年の阿南で 30 周年記念大会となり大いに盛り上げていただき、今後もとという雰囲気、では今年の開催は如何にということになります。開催地の南北の巡り順や関連する学会の動向なども考慮して北海道、九州など検討される中で、阿南大会ホストからは「コロナでしぼんだ後、30 年目の総括はできたけど、新たな 10 年の始まりは原点に戻す調整の年にはどうだろう」との提案がありました。それも有り協議した結果、「基礎と臨床の協働・・・」みたいなテーマの下、SADI 創設当初からの関係者も多い中日本の福井県にて開催となりました。

要領は次の通りです。

- ・ 竜歳 3 月から新幹線が開通する恐竜駅の福井県、その中で一新された恐竜博物館のある勝山市、会場に同館講堂を予定、アクセスもフィールドもよし、一切を賄えそうで、従来の名付け習慣からは「恐竜の里大会」？
- ・ ホストは石畝・高田（支援）（石畝は同市在住で、福井県衛環研にあった頃は高田と共同関係、同衛環研からは支援も得られる）。なお、同県では近年紅斑熱や SFTS など急増、恙虫病もライム病もみる。
- ・ 会期は、種々検討した結果、6 月 21～23 日を予定、日程も例年通り、経費は最低線として手弁当にて。

以上ですが、更に詳しい要領などは春までの第 2 報にてお知らせします。ご参加に向けて各位のご検討また、ご関係方面へのお誘いなどお願い申し上げます。